

# 令和8年度事業計画

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

## 1. 基本方針

世界情勢は、依然として続く地域紛争や主要国の政権交代に伴う経済政策の変化など、混乱を極めており、先行きの不透明感が続いています。国内においても、急速な少子高齢化と労働力不足が深刻化する中、物価高騰への対応や最低賃金の引き上げなど、働く環境は大きな転換期を迎えています。

シルバー人材センターを取り巻く環境も、フリーランス法の定着や高年齢者雇用安定法の改正、さらにはデジタル化社会への対応など、より高度な運営能力が求められています。こうした中、当センターは「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、「第2次中期基本計画」の指針に基づき、地域社会のニーズに柔軟に対応しながら、会員・役職員が一体となって「元気な人間」に貢献するべく、以下の通り事業を展開してまいります。

## 2. 事業目標(年度末)

(1) 契約金	7億9千7百万円
(2) 会員数	1,549人
(3) 就業延人員	13,500人
(4) 事故件数	0件

## 3. 事業計画

### (1) 安全・適正就業の徹底

「安全はすべてに優先する」という理念を堅持し、会員が健康で事故なく就業できるよう、就業環境の整備に努めます。令和8年度は、現場での「安全パトロール」を強化し、危険箇所の早期発見に努めるとともに、会員の平均年齢や健康寿命が高まっている現状を鑑み、会員がいつまでも健康に、かつ安全に就業を続けられるよう「安全就業研修」等の開催を実施し、心身両面からのサポートを通じて、未然に事故を防ぐ体制を構築します。

### (2) 会員の増強と女性会員の比率向上

多様な働き方を提案し、新たな会員層の確保に努めます。これまでの入会説明会に加え、「出張入会説明会」および「出張就業相談会」を計画的に開催し、より地域に密着した相談体制を確立します。特に、社会福祉協議会やハローワーク等と連携し、家事援助や軽作業など女性会員が活躍しやすい職域を積極的に開拓し、女性会員比率の向上に取り組めます。

(3) 地域社会への貢献(認知症と共に生きるまちの体現)

入間市が掲げる「認知症と共に生きるまち」をセンターとして体現するため、「認知症サポーター養成講座」を開催し、会員の知識向上と地域での見守り活動を推進します。年齢を重ねても住み慣れた地域で役割を持ち、就業を通じて生きがいと健康を維持できる環境を整えることで、医療・介護費の削減という社会的役割を果たします。

(4) 普及啓発の推進

市民にセンターの活動を広く周知するため、「サークル活動」の推進に加え、「元気な入間ウォーキング大会」や「元気な入間文化祭」を継続開催します。これらの活動を通じて、元気な高齢者の姿を直接発信することで、センターの普及活動と利用促進に繋がります。また、広報誌やウェブサイトを活用し、多角的な広報を展開します。

(5) デジタル化の推進

会員専用ウェブページ「Smile to Smile」の普及率をさらに向上させ、配分金明細や支払証明の電子化、迅速な情報提供を推進します。このデジタル化の進展に合わせ、紙による広報誌や通知書等の配布を見直し、ペーパーレス化を促進します。これにより、事務効率の向上を図ると同時に、脱炭素・カーボンニュートラルへの取り組みとして、脱地球温暖化、環境負荷の低減に貢献します。